



パノラマラウンジに併設されたキッチンには10人掛けのテーブルも。事前に予約すれば、ラウンジと併せて借り切ることができる。

魅力だ。パノラマラウンジは原則として10時から21時まで開放され、居住者は「もうひとつのリビングルーム」として自由に利用することができる。パーティーを挟んでダイニングキッチンが併設されており、併せて貸し切れることも可能だ。「たとえば、アンダーズ 東京のシェフ出張サービスを利用してパーティを開いたり、ミーティングスペースとして活用したり、さまざまな使い道があると思います」

居住者の入居を間近に控えた7月中旬、福井さんはデスクに留まることなく、敷地内を忙しく動き回っていた。巨大な複合施設という形態だからこそそのメリットもあれば、デメリットもある。そう心して居住者を迎えるべきと、福井さんは表情を引き締める。「居住する方々の安全を第一に考えて設計されているのはもちろんですが、用心に越したことはありません。ロックやエマージェンシーボタンの設置場所を改めて確認しつつ、小さいお子様が入り込んだら危ない場所はないか、非常時の動線は確保されているか、時間が許す限り敷地内を巡回し、自分の目で確かめるようにしています」

入居する人々が日々安心して、安全に暮らせる環境を整えるのと同様、「皆さまのお名前とお顔を覚えるのが目下の急務」と、笑顔を見せる。ホスピタリティに満ちたこの姿勢は、新しい場所で新しい生活を始める人々にとって、何より頼もしい支えとなることだろう。

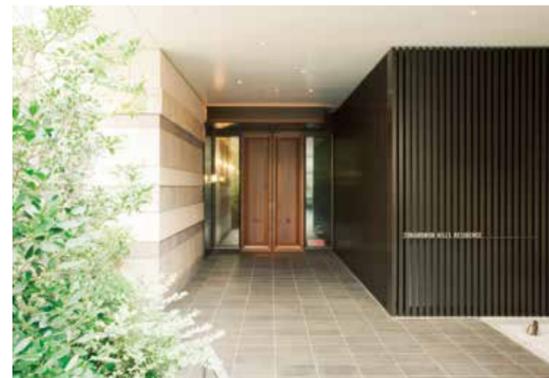
サービス面にも及ぶということだ。居住者はレジデンスのフロントを通さず、ルームサービスやハウスキーピング、ケータリングといったアンダーズ 東京のサービスを受けられ、部屋でもランドリーの受け渡しが可能。ホテル内SPAへ、住宅フロアから直接アクセスできるのも嬉しい。このように、日常生活にホテルのサービスという“非日常”を組み込んだことが、このレジデンス最大の付加価値といえるだろう。

37階に広々としたパノラマラウンジがあるのも大きな



上) 37階に位置するパノラマラウンジ。住宅ロビーと同様、Wi-Fi環境が整っている。下) フロントからエレベーターへと続くホールの壁にはモダンアートが。

「アンダーズ 東京」と同じく、トニー・チーがデザインした住宅ロビーに立つ福井淳マネージャー。居住者の暮らしをサポートする頼もしい存在だ。



MORI LIVING の家の鍵。

官民一体となって進められた大規模再開発計画の一環として、2014年6月11日にグランドオープンを迎えた『虎ノ門ヒルズ』。構想から68年もの年月を経て開通した都心の大動脈「環状2号線」を足元に、地上52階建て、高さ247mのタワーがそびえる、東京の新しいランドマークだ。コンセプトは「Hello, Mirai Tokyo!」。古くからの官庁街である虎ノ門エリアに新風を吹き込み、東京の未来を動かす機動力としての期待が高まる。

ホテル、住宅、オフィス、カンファレンス、商業施設。5つの機能が集約されたこの巨大なタワーの37～46階部分を占めるのが「虎ノ門ヒルズレジデンス」だ。活気あふれるビジネス街の中心にありながら、レジデンスの中には喧騒とは無縁の空間が広がる。約70戸ある賃貸用住戸は1ベッドルームから3ベッドルームまであり、内装は5タイプに分かれる。六本木ヒルズや東京タワー、皇居の緑、湾岸エリア、東京スカイツリーなど、東京の名所を一望できる圧倒的な眺望を誇る。

フロントやホールなどの共有部分のデザインは、ホテル『アンダーズ 東京』の内装を手掛けたトニー・チーが担当した。「新橋側からのアプローチを共有するホテルと内装のテイストを揃え、一体感を持たせています。既存のレジデンスとのいちばんの違いは、ホテルとの関係性が密接なことでしょう」と、フロントマネージャーの福井淳さんは話す。注目すべきは、この「ホテルとの一体感」が



上) 白を基調とした内装の140㎡、2ベッドルームタイプの住戸のリビングダイニング。内装のテイストが異なる住戸も用意されている。下) フロントには大型のブックシェルフを設置。約200冊ある蔵書は住宅ロビーで閲覧できる。

⑪ 虎ノ門ヒルズレジデンス 日常の中に非日常を取り込んだ 新コンセプトのレジデンス

6年後のオリンピック開催を控え、再生と進化を続ける東京の心臓部に誕生した新しいスタイルのレジデンスで、最新鋭のセキュリティシステムと心に響くサービスを受用する。

Photographs by Satoshi Nagare Text by Seishi Isozaki



虎ノ門ヒルズレジデンス
Toranomom Hills Residence

- 所在地 : 東京都港区虎ノ門1丁目23-2
- アクセス : 虎ノ門駅 徒歩5分(地下鉄有明線)
霞ヶ関駅 徒歩8分(地下鉄丸ノ内・日比谷・千代田線)
神谷町駅 徒歩8分(地下鉄日比谷線)
- サービス : フロントサービス(バイリンガル対応)、パノラマラウンジなど
- 備考 : 駐車場あり(空き状況により利用可)。
ペット可(飼育できるペットに制限あり)。
複内の「AQ(アオ)スバアンド クラブ」ほか、都内に5箇所ある「ヒルズスパ」を利用可。

お問い合わせ: 森ビル株式会社 住宅事業部
電話: 0120-52-4032 www.moriliving.com